

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母親学級の充実						掲載ページ
							63
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名 母子保健	担当課 子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	妊娠や出産・育児に関する知識の普及を図るため、託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。母子の健康に関する知識の普及を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供するため、妊婦を対象とした母親学級を各区で開催します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	母親学級開催数	88 回	維持	82 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの妊婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ることは重要であるため、活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）					
	母親学級参加者数	1,059 人	参加者数の増加	1,038 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調
より多くの妊婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ることは重要であるため、活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 出生数が減少していることや、就労する母親の増加、また、同様の教室を医療機関で開催している現状を踏まえ、内容や開催回数を見直した区もあり、開催回数・参加者ともに減少しましたが、どの教室も定員数を超えることはなく希望する方への機会の提供ができていると評価し順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 他の社会資源の状況や市民の利用状況を踏まえ、内容の精査や需要に対する量の検討が必要で

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
医療機関をはじめとした他の社会資源の教室開催状況をみながら、効果的な教室の内容や必要量を検討していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子健康手帳の充実						掲載ページ
							63
コスト	事業費	平成26年度執行額 23,460 千円	平成27年度予算額 26,623 千円	政策分野 施策名	安心して生み育てることができる環境づくり 母子保健	担当局	子ども家庭局
		「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部			担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	母子の健康状態を記録するとともに、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を提供することで、母子の健康の保持及び増進を図ります。また、妊婦健診の早期受診の勧奨やマタニティマーク等の情報を効果的に提供し、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	母子健康手帳交付時における子育てに関する情報の提供や、保健師等の専門職による相談など、妊娠中からの継続した支援を行います。また、手帳についている出生連絡はがきにより、早期に支援が必要な方を把握し紹介します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	母子健康手帳の交付率	99.9 %	100 %	99.9 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	母子健康手帳を交付することで、交付時に安全な出産のための妊婦健診の重要性について説明し、ハイリスク者への相談、支援につながることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 100%（平成26年度）			99.9 %		
	母子健康手帳の交付案内の配布	14,000 枚	関係機関への必要枚数の配布	14,000 枚	順調 やや遅れ 遅れ	順調
母子健康手帳の交付案内を配布することで、母子健康手帳の交付の周知につながることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	母子健康手帳交付時に専門職が妊婦と面接し、子育てに関する情報提供や個別相談を行いました。また、母子健康手帳の交付率が概ね100%であることや、これまで妊婦やその家族が投函していた出生連絡はがきを出産した医療機関から送付するなど、早期に支援が必要な方の把握ができることから順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	妊婦健診手帳に広告を入れることで、経済性を図りました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
母子健康手帳交付時の効果的な面接、情報提供方法について検討し、母子健康手帳の有効活用や母子保健事業の利用促進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子健康診査事業						掲載ページ		
							63		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		971,502	千円	992,900	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	母子保健法に基づき、妊婦や乳幼児の疾病または異常の早期発見及び疾病や障害の予防、悪化防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の健康診査等を実施します。 また、健康診査を公費助成することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	妊婦健診の公費助成を14回行うとともに、受診勧奨を行うことで受診率の向上を図ります。また、様々な機会を通じて妊婦健診を周知し、11週までの妊娠届出者数を増加させます。 子どもの疾病の早期発見と障害予防のために、新生児期に19疾患の先天性代謝異常等の検査を実施します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	妊婦健康診査受診率		95.5 %	100 %	97.4 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	母体の健康を保持し、安心して妊娠・出産するために、妊婦健診の受診は必要であるため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)100% (平成26年度)				97.4 %			
	3歳児健康診査受診率		91.8 %	100 %	93.5 %	やや遅れ	順調	
乳幼児の健康を保持し、健全な育成を促すために、乳幼児健診の受診は必要であるため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)90% (平成26年度)		93.5 %			遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	妊婦健診の受診率及び3歳児健診の受診率は100%には届かなかったものの、前年度より増加しており、届出時の助成券交付により早期から妊婦として自覚した健康管理に繋がる割合が増えていると考え、順調と評価しました。また、幼児健診の受診勧奨ハガキの送付や各乳幼児教室などで健診受診について勧奨しており、順調と判断しました。また、健診の結果を把握することにより必要なフォローアップも実施しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と協議して実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
妊婦健診の公費助成回数拡充及び項目を追加し、健診の周知を図ったことで、妊娠早期から受診する人が増加しています。今後も健診の周知や健診結果に応じた支援の充実を図り、事業を継続していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	妊産婦・乳幼児なんでも相談等の実施						掲載ページ
							63
コスト	事業費	平成26年度執行額 23,460 千円	平成27年度予算額 26,623 千円	政策分野 施策名	安心して生み育てることができる環境づくり 母子保健	担当局 担当課	子ども家庭局 子育て支援課
		「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部				

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 育児不安の軽減を図るため、市民センター等、地域の身近な場所で、保健師による相談を定期的に行います。 また、子育てに関する知識の普及と啓発のために講話等を開催します。	活動実績 活動結果は下記のとおりです				
活動計画	身近な場所で子育てや母子の健康について相談できるよう、市民センターや子育てサークルと連携しながら実施していきます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	なんでも相談開催箇所数	135 箇所	全小学校区	135 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	身近な場所で実施することが、育児不安の軽減につながるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 全小学校区（現状維持）（平成26年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	概ね全小学校区で開催しており、身近な相談場所として定着していることから順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	子育ての孤立化を防ぎ親の育児不安を軽減するために、地域において相談できる機会の提供は大切です。また、区役所窓口や個別訪問と比べ、短時間で複数の個別事例の相談支援ができて効率的です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

身近な相談場所として定着してきており、子育ての孤立化の予防に繋がっていることから、今後も事業を継続します。あらゆる機会を通じて事業の周知を図り、利用を促進していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	両親学級						掲載ページ
							63
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名 母子保健	担当課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 夫婦が協力して出産・育児に取り組む大切さを学ぶため、土・日曜日など父親の仕事が休みの日に沐浴や妊婦疑似体験等の実習を取り入れた教室を開催します。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	夫婦が参加しやすい時間帯、曜日を考慮して、実施します。実習を取り入れ、夫婦で学べる教室を計画します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	両親学級開催回数	28 回	現状維持	28 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	両親学級の開催が、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及につながると考えることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）現状維持（毎年度33回）平成26年度					順調
					やや遅れ	順調
				遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	就労する父親・母親が参加しやすいよう、すべての区において、土・日曜日など仕事か休みの日に、沐浴や妊婦疑似体験等の実習を取り入れた教室を開催しました。開催回数は現状維持で、希望する方への機会の提供ができていると評価し順調としました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	核家族化等により身近に相談する人が少ないことや、様々な情報が氾濫していることから、妊娠・出産・育児に関する適切な知識を提供し、子育て支援サービスの普及を図ることは重要です。正確で効果的な情報提供を行うため、地域との関わりを促し、関係機関と連携して、参加しやすい教室内容を工夫する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

核家族化が進み、育児環境が変化する中で、出産や育児の負担が母親のみにかからないよう、夫婦で協力して育児に取り組む大切さを認識する機会になっていることから、今後も継続して事業を行っていきます。様々な機会を通して事業の周知を行い、効果的な事業の推進を図ります。なお、本事業は、「母親学級等の実施（すくすく子育て支援事業）」の一環として実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「ママとパパのためのにほんご教室」（旧：日本語と子育て教室）						掲載ページ		
							64		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	総務企画局
		2,641	千円	49,441	千円	施策名	母子保健	担当課	国際政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	本市の外国人市民の構成において、いわゆるニューカマーと呼ばれる、1980年代以降来日した方の割合が増えています。その中には、日本語や日本の生活習慣の知識が十分でない方も多く含まれているため、そのような外国人市民に対して、多言語による生活情報の提供や日本語教室の充実を図るとともに、相談体制の強化を図ります。		活動実績	活動結果は以下のとおりです。		
活動計画	「ママとパパのためのにほんご教室」といった生活支援事業については、今後も継続して事業を実施することとしています。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	ママとパパのためのにほんご教室の参加者数	900 人	800 人	714 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	言葉の問題と子育てで孤立しがちな外国人市民に対する生活支援として、託児付きで「日本語」と「子育て」の両方が学べる講座を開催しています。年度当初における受講者の約7割が1年間継続して受講することを目標に指標を設定しています。 （最終目標と最終年度） 平成23年度で市の主催事業終了			89.3 %			
	ママとパパのためのにほんご教室の開催数	88 回	88 回	84 回	やや遅れ	やや遅れ	
言葉の問題と子育てで孤立しがちな外国人市民に対する生活支援として、託児付きで「日本語」と「子育て」の両方が学べる講座を小倉北区及び八幡西区で、それぞれ週1回開催しています。 （最終目標と最終年度）	95.5 %						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「ママとパパのためのにほんご教室」については、平成24年度より引き続き、小倉北区及び八幡西区において「生活者としての外国人」、特に子育て世代を対象に実施し、日常生活に必要な漢字や文法などの勉強を行っています。出産や引っ越しなどで継続的に参加が難しい方もおり、参加者数が前年度より減少していることからやや遅れとしました。新規者獲得のために引き続き充実した内容と情報発信が必要です。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	外国人市民向けの日本語と子育て教室に関する事業は、（公財）北九州国際交流協会の補助事業として実施しています。同団体が持つ多文化共生関係のノウハウや関係団体との強いネットワークを活かした事業が実施できること及び専門性を有する経験豊富な日本語教師により運営されることから、効率的に事業が実施されています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
現在の市内2カ所での日本語と子育て教室を継続して実施する中で、更なる広報による参加者の増加を図り、日本語や生活に必要な情報提供だけでなく、外国人市民同士の情報交換やお互いの相談ができる、「保護者同士のつながりの場」として活用していきます。また本事業は、今後、アジアからの人材受入育成拠点をめざそうとしている北九州市の施策に向けては必要不可欠な事業であり、継続した事業の実施が必要です。本事業は北九州国際交流協会への補助金で実施している事業であるため、継続的な補助金の確保が必要です。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	北九州市国民健康保険出産育児一時金の給付						掲載ページ		
							64		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		501,878	千円	546,000	千円	施策名	母子保健	担当課	保険年金課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	出産育児に係る経済的負担を軽減するため、他の健康保険で実施されている制度と同様、出産時に世帯主に対して、出産育児一時金を支給します。また、平成21年10月からは被保険者への負担軽減をより一層進めるため、国民健康保険から医療機関等に出産に係る費用を直接支払う制度（直接支払制度）を実施しています。		活動実績	国保てびきやホームページを通じて制度の広報を行いました。また、差額支給がある世帯に対しては、届出の勧奨を行いました。	
活動計画	出産した被保険者がいる世帯に対して出産育児一時金を支給します。直接支払制度を利用している場合は医療機関等に支払いを行います。また、差額支給がある場合は世帯主に届出勧奨を行います。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→ 【活動の状況】
	出産育児一時金の支給件数		1,216 件	—	1,201 件	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	上記指標により、国民健康保険の被保険者が出産した場合の世帯主に対する出産育児一時金の支給状況が把握できるため、指標として設定 （最終目標と最終年度）					
						大変順調
					順調	
					やや遅れ	順調
					遅れ	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	国民健康保険の被保険者が出産した世帯から申請が出されており、出産に係る費用の負担軽減に大きな効果があったと考えています。また、本制度は、出産に係る費用の軽減のため、他の健康保険も実施している事業であり、本市国民健康保険についても、国民健康保険法第58条等により給付するものと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	他の健康保険も同じように実施している制度であり、適切なコスト設定であると考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
現状を維持します。